

令和6年度小学生向けサバイバル体験イベント実施等業務委託仕様書（案）

1. 目的

佐賀県では、出会い・結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかない、こどもたちが健やかに成長できる環境のもと、「佐賀で楽しく子育てしたい」と思ってもらえる佐賀県づくりを推進する「子育てし大県“さが”プロジェクト」に取り組んでいる。

佐賀県のこどもたちに、自分の頭で考え、挑戦できる「骨太なこども」に育ってもらうために敢えて困難に直面しそれを乗り越える経験及び佐賀への郷土愛や誇りの醸成につなげていくために佐賀の豊かな地域資源を体感する機会を提供するサバイバル体験イベントを実施する。

2. 委託業務内容

(1) サバイバル体験会の企画

①山コース（A 多良岳、B 白木パノラマ孔園、C 栖の宿キャンプ場を想定）、海コース（県内の離島：小川島を想定）での1泊2日のサバイバル体験会を企画する。

※各コースの想定は以下を参照のこと。

※フィールドや宿泊地・参加人数は現時点の想定であるため、今後変更になる可能性がある。ただし、提案時の見積書は以下の人数・場所で算出すること。

山コース A	
フィールド	多良岳
宿泊場所	中山キャンプ場を想定 (佐賀県藤津郡太良町大字多良中山) ・テントサイト（3m x 4m程度）10 サイト ・バンガロー8 棟 ・オートサイト 6 サイト ・炊事場あり ※こどもたちは複数人のグループ（男女別）で1つのテントやコテージに宿泊する想定
施設利用料	中山キャンプ場：49,060 円（税込） x 2 回=98,120 円（税込） (49,060 円（税込）の内訳： ・バンガロー5 人用 1,650 円 x 1 棟=1,650 円 ・バンガロー10 人用 3,300 円 x 3 棟=9,900 円 ・バンガロー13 人用 4,290 円 x 4 棟=17,160 円 ・テント 550 円 x 10 サイト=5,500 円 ・オートサイトM 2,200 円 x 3 サイト=6,600 円 ・オートサイトL 2,750 円 x 3 サイト=8,250 円)

	<p>※キャンプ場を貸切利用する想定</p> <p>しおさい館入浴料：300 円/人</p>
参加人数	50 名/回（計 100 名）（ スタッフ等を除く ）男女比想定は 5：5 程度
実施日	7 月 22 日から 9 月 30 日の間の土日祝（1 泊 2 日）で 2 回予定 ※実施日の調整は県が施設側と別途行う
実施回数	2 回
その他	中山キャンプ場にはシャワーがないので、「太良町総合福祉保健センターしおさい館（佐賀県藤津郡太良町大字多良 1-17）」で入浴想定

山コース B	
フィールド	白木パノラマ孔園およびその周辺
宿泊場所	<p>白木パノラマ孔園 （佐賀県江北町白木）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テントサイト 8 サイト ・コテージ 1 棟 3 部屋 ・炊事場あり ・冷蔵庫あり ・シャワー室（男性用・女性用それぞれ 2 か所ずつ）あり <p>こどもたちは複数人のグループで（男女別）で 1 つのテントやコテージの部屋に宿泊する想定</p>
施設利用料	39,200 円（税込） x 1 回 ※キャンプ場を貸切利用する想定
参加人数	40 名/回（ 計 80 名 ）（ スタッフ等を除く ）男女比想定は 5：5 程度
実施日	7 月 22 日から 10 月 31 日の間の土日祝（1 泊 2 日）で 1 回予定 ※実施日の調整は県が施設側と別途行う
実施回数	1 回
その他	—

山コース C	
フィールド	栖の宿キャンプ場
宿泊場所	<p>栖の宿キャンプ場 （佐賀県鳥栖市河内町）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テントサイト 40 サイト（ソロキャンプ用サイトを除く） ・入浴は施設内の温泉

	こどもたちは複数人のグループ（男女別）で1つのテントに宿泊する想定
施設利用料	施設利用料不要。ただし入湯税 100 円/人必要。（こども、大人） ※キャンプ場を貸切利用する想定
参加人数	40 名（スタッフ等除く）男女比想定は 5：5 程度
実施日	7 月 22 日から 10 月 31 日の間の土日祝（1 泊 2 日）を予定 ※実施日の調整は県が施設側と別途行う
実施回数	1 回
その他	—

海コース	
フィールド	県内の離島（小川島を想定）
宿泊場所	めぐりあいらんどおがわを想定 （佐賀県唐津市呼子町小川島） ・ 15 畳の和室 6 室 ・ 浴室あり こどもたちは複数人のグループ（男女別）で1つの和室に宿泊する想定
施設利用料	こども：5,960 円/人（税込） x 25 人= 14,900 149,000 円 大人：6,500 円（税込）/人 調理実習室：4,320 円（税込）/日 x 2 回 大研修室：4,320 円（税込）/回 ※調理実習室は 2 回利用想定。大研修室は 1 回利用想定
参加人数	20 名 ～25 名（スタッフ等除く）男女比想定は 5：5 程度
実施日	7 月 22 日から 10 月 31 日の間の土日祝（1 泊 2 日）を予定 ※実施日の調整は県が施設側と別途行う
実施回数	1 回
その他	小川島までの渡航は定期船（こども往復 520 円、大人 1,040 円）を想定。 天候等で船が出ない場合があるので、代替日も想定している。

②サバイバル体験会の対象は、佐賀県内の小学校に通う 4 年生～6 年生とする。

③それぞれのコースで、こどもたちが自ら考え、チーム（こどもたち 5 人程度で 1 チーム）で協力し、挑戦することでクリアできるミッション（※）を複数用意すること。

（※）・ミッションはこどもたちが困難に立ち向かうことでクリアでき、達成感を味わえるものとする。

- ・また、地域の自然、歴史、文化等に触れられるものや地域の方々との交流を促すものとする。
- ・ミッションは、チーム対抗で行うものも用意し、同じチーム以外のこどもたち同士の交流を促すものも用意すること。
- ・ミッションの数はミッションの内容や(1)④のタイムスケジュールによる。
- ・最終的なミッションは、地域の方々、受託業者、県が安全面や実現性について十分に協議をした上で決定する。

④それぞれのコースの1泊2日のタイムスケジュールを提案すること。

- (※)
- ・1日目昼前に集合場所に到着、22時までには就寝。翌日昼前過ぎに解散を想定。
 - ・最終的なタイムスケジュールも地域の方々、受託業者、県が安全面や実現性について十分に協議をした上で決定する。

<ミッションの例>

ミッションは、山コースA(多良岳)は山の散策、山コースB(白木パノラマ孔園)C(栖の宿キャンプ場)は、クラフト体験に重きを置くことを想定。海コース(小川島を想定)は、島の散策および食材調達(釣り)に重きを置くことを想定。

太字のミッション#1、2、4、5、6、8、9、10については実施すること。

#	ミッション	想定フィールド
1	<p>集合場所(※)まで公共交通機関を利用し、自力で来場する。</p> <p>(※) 集合場所はフィールド近くの駅を想定。交通費は参加者負担。</p> <p>集合場所想定：山コース①A 多良駅、 山コース②B 江北駅、 山コース③C 鳥栖駅、 海コース唐津駅</p> <p>集合場所から会場までの送迎バスを手配すること。</p>	山コース ABC、 海コース
2	<p>マップを見ながらフィールド内の目的の場所(※)までこどもたちだけのチームでたどり着く。</p> <p>(※) フィールドならではの自然、歴史、文化が感じられる場所を想定。</p> <p>【山コースA(多良岳)の場合の例；】 -幻の植物(オオキツネノカミソリ、ツクシヤクナゲ)を見つける</p>	山コース A、海コース

	<p>-黄金に光る不思議な木「ヒメシヤラの巨木」を探す</p> <p>-「修験道の開祖」に会いに行く</p> <p>参考資料： https://www.town.tara.lg.jp/library/sightseeing/pamphlet/taradake.pdf</p> <p>【海コースの場合の例；】</p> <p>-田島神社に行く</p> <p>-鯨見張所に行く</p> <p>-鯨供養塔に行く</p> <p>参考資料： https://www.sagajikan.com/ritouchiiki/nanatsunoshima/ogawashima https://meguri-island.jp/</p>	
3	食材をかけたクイズや謎解き。	山コース ABC
4	食材を自分たちの力で調達する。 ※釣りや磯遊びを想定（ただし、天候等によって実施できない場合がある）	海コース
5	自分たちでテント設営する。	山コース ABC
6	自分たちで火をおこす。	山コース ABC、 海コース
7	竹飯盒等でお米を炊く。	山コース ABC、 海コース
8	サバイバル飯をつくる。	山コース ABC、 海コース
9	木工体験、ブッシュクラフト等	山コース BC
10	夜に実施するチーム対抗戦のゲーム等	山コース ABC、 海コース

- ⑤ミッションをクリアしたら、フィールド内通貨やカード等子どもたちが喜び、インセンティブになる工夫を用意すること。
- ⑥山コース A、海コースについてはフィールドマップを作成すること。フィールドマップは子どもたちがわくわくするようなデザイン、内容にすること。
- ⑦各コースのフィールドの地域の方々にインストラクター（フィールドの案内や地域の歴史を伝える、木工体験やブッシュクラフトを教える役割を想定）として体験会に参加してもらおう想定。地域の方々は、「山の会議（仮）」に参加されている方を想定しているが、調整は受託業者決定後行うこととする。そのため、インストラクターの案および内諾は提案時に必要ない。ただし、インストラクターに謝金は払う想定なので見積金額に入れておくこと。（人数想定：子ども5人（1グループ）あ

たり 1 人) 見積書に反映する謝金額は、1 人あたり 10,000 円/日 (税別) とする。ただし、実際の謝金額はインストラクター決定後、協議し、決定する。

- ⑧⑦のインストラクターとは別に、火おこしやテント設営等のサバイバル技術を子どもたちに教える講師を複数人起用すること。講師は佐賀県にゆかりのある人が望ましい。

(2) サバイバル体験会の実施・運営

- ①実施・運営にあたっては、子どもたちの安全に十分に配慮すること。
- ②イベント進行管理マニュアルを作成すること。マニュアルには、以下の点を必ず明記すること。
- タイムスケジュール
 - 進行シナリオ
 - 会場レイアウト図 (フィールドマップとは別。ミッションの場所の確認や緊急時の動線等の確認に使用)
 - 緊急時の体制、連絡先
 - 運営スタッフの組織図、それぞれの役割
 - 子どもたちのチーム分け一覧、チームの見守り責任者、インストラクター、講師の役割
- ③(1)⑦のインストラクターとは別に 5 人程度/回の子どもたちを見守るためのスタッフを用意すること。
- ④グループの人選は小学校、居住エリアをできるだけ分けること。また学年構成もバランスよく配置すること。その意図は、普段接する機会が少ない別の地域に住む子ども同士の交流促進や、年齢が異なる子ども同士でチームとして協力して活動すること相手を思いやる経験をしてもらうため。
- (1 グループの例：小学 4 年生男の子 (唐津市)、小学 4 年生女の子 (佐賀市)
小学 5 年生女の子 (鳥栖市)
小学 6 年生男の子 (鹿島市)、小学 6 年生 (武雄市) 計 5 名)
- ⑤山コース ABC については、人数分 (スタッフ含む) のテント、寝袋を手配すること。海コースについては、釣り用具 (餌等含む) を人数分手配すること。また山コース、海コースともに BBQ に必要な道具を手配すること。いずれもレンタルを想定。必要な用具類は以下を参照すること。

山コース A (多良岳)	テント等	<ul style="list-style-type: none"> ・テント(※1) ・スリーピングマット (エアーマット等) 人数分 ・寝袋 人数分 ・タオルケット(※2) 人数分
--------------	------	--

		<p>(※1)テントは、区画サイトに設営する場合は、サイトサイズが 3mx4m 程度であるため、4 人～5 人用、オートサイトに設営する場合は、できるだけ大きなサイズのテントを手配すること(テントは男女別とする)。オートサイトのみの利用も可とする。バンガローを活用する場合は、テントサイトの利用が望ましい。</p> <p>(※2) 中山キャンプ場から毛布を手配可能 100 円(税込)/枚</p>
	BBQ グッズ	<p>炭、着火剤、炭ばさみ、網、調理器具(まな板、包丁、トング等)、テーブル(調理台および食卓として)、イス、ゴミ袋、うちわ、紙皿、割りばし(※1)</p> <p>※中山キャンプ場に炊事場あり ※すべて 50 名のこどもたちとスタッフが賄える数を用意すること。 (※1) 割りばしは工作体験としてこどもたちが作ったものでも可</p>
山コース B (白木パノラマ孔園)	テント類	<ul style="list-style-type: none"> ・テント(※1) ・スリーピングマット(エアーマット等)人数分 ・寝袋 人数分 ・タオルケット 人数分 <p>(※1)テントサイトは8つあるので、5人～6人用のテントを手配。</p>
	BBQ グッズ	<p>炭、着火剤、炭ばさみ、網、調理器具(まな板、包丁、トング等)、テーブル(調理台および食卓として)、イス、ゴミ袋、うちわ、紙皿、割りばし(※1)</p> <p>※白木パノラマ孔園キャンプ場に炊事場あり</p>

		<p>※すべて 40 名のこどもたちとスタッフが賄える数を用意すること。</p> <p>(※1) 割りばしは工作体験としてこどもたちが作ったものでも可</p>
山コース C (栖の宿キャンプ場)	テント類	<ul style="list-style-type: none"> ・テント(※1) ・スリーピングマット (エアーマット等) ・寝袋 ・タオルケット <p>(※1) テントサイトは No. 30~40 の区画を利用想定。4 人~5 人用のテントを手配すること。区画については、栖の宿 HP 参照のこと (https://sumika-y.jp/camping.html)。</p>
	BBQ グッズ	<p>炭、着火剤、炭ばさみ、網、調理器具 (まな板、包丁、トング等)、テーブル (調理台および食卓として)、イス、ゴミ袋、うちわ、紙皿、割りばし (※1)</p> <p>※栖の宿キャンプ場に炊事場あり</p> <p>※すべて 40 名のこどもたちとスタッフが賄える数を用意すること。</p> <p>(※1) 割りばしは工作体験としてこどもたちが作ったものでも可</p>
海コース (小川島)	テント類	不要
	BBQ グッズ	<p>炭、着火剤等の消耗品を手配</p> <p>※その他、BBQ コンロ等は施設から借用可能</p>
	その他	<p>エサ</p> <p>サビキセット</p> <p>※釣り竿は施設から借用可能</p>

⑥それぞれのコースで食材 4 食分(1 日目昼食、夕食、2 日目朝食、昼食)を手配すること。食材は佐賀県産や地元にゆかりのあるものをできるだけ使用 (例: 小川島の場合: くじら、イカ等) し、食中毒等が発生しないように安全のためにしっかりと対策を行うこと。朝食は、トーストやおにぎり等調理に時間を要さないもの

を想定。

⑦集合場所からフィールドまでの移動手段を用意すること。

※・山コース A 多良駅周辺⇄中山キャンプ場 x 2 回

中山キャンプ場 or 金泉寺⇄しおさい館 x 2 回

・山コース B 江北駅周辺⇄白木パノラマ孔園

・山コース C 鳥栖駅周辺⇄栖の宿キャンプ場

・海コース 唐津駅周辺⇄呼子港（小川島定期船乗り場周辺）

呼子港からは定期船を利用想定。運賃の支払い等の乗船手続きを行うこと。（こども往復 520 円、大人往復 1,040 円）

⑧看護師等応急処置ができるスタッフを同行させること。

⑨救急セットを用意すること。

⑩参加するこどもたちに保険を掛けること。

⑪参加者から一人当たり参加料 1,000 円を徴収するが（食材費や保険費用）、不足分は事業費からまかなうこと。参加料は、受託者が徴収する。徴収方法は、提案によるが、銀行振込にする場合の手数料は、参加者負担とする。

⑫保護者の安心のため、イベント当日のこどもたちの様子を写真付きの簡単なレポートとして作成し、鍵付きのサイト（保護者のみが閲覧可能なサイト）に公開すること。

⑬イベントの実施運営にあたっては、関係各所とトラブルにならないように十分配慮して行うこと。

(3) サバイバル体験会の参加者募集等

①参加者数目標は計 200 人以上。

②A4 両面カラーチラシ 25,000 部を作成すること。（県内小学校への配布用等）

③B2 カラーポスター 200 部作成すること。

④ポスターおよびチラシは、こどもたちが参加したくなるような視認性があり、わくわくするデザインにすること。

⑤作成したチラシを県内の小学校及び県内の公共施設等へ発送、作成したポスターを県内の公共施設、商業施設（アウトドア用品店含む）、キャンプ場に掲載すること。

⑥募集時に、安全面の注意事項や持ち物等は必ず記載すること。

⑦応募条件に原稿用紙 1 枚程度の作文の提出とすること。

作文のテーマは県が指定する。（現時点の想定：「サバイバル体験を通じてどのように成長したいか」「将来どのように成長したいか（こどもたちの志について）」等）

※作文は画像アップロードも可とする。

- ⑧その他、200人以上の参加者を確保するための創意工夫をすること。
- ⑨募集受付、決定、参加希望者への連絡を行うこと。
- ⑩募集者数が200人を上回った場合は、男女比、年齢構成比、提出された作文等も踏まえ、受託者と県で協議する。

(4) サバイバル体験会の名称およびロゴ作成

- ①サバイバル体験会の名称およびロゴおよびイベント全体の統一イメージを作成すること。
- ②①で作成したものは、(1)⑥フィールドマップや、(3)②チラシ、LP（作成する場合）等本業務委託で作成する制作物すべてに使用すること。

(5) 参加者へのアンケート

- 参加者全員にアンケートを実施すること。アンケート項目は県と調整すること。
（「もっと色んなことに挑戦したいと思ったか」「佐賀がもっと好きになったか」の問は必須とする）

※体験会の企画・実施・運営にあたっては、県および地域の方々の意向を十分に考慮して業務にあたること。

※ミッション等の検討にあたり、地域の方々や施設に直接問い合わせをしないこと。問い合わせは佐賀県こども未来課宛てに行うこと。

※雨天時、荒天時の対応は、受託後協議だが、大雨や雷雨の予報が出る場合は、サバイバル体験会を中止とする想定。

3. 目標

- ①参加者200名以上を確保する。
- ②参加者にアンケートを取り、「もっと色んな事に挑戦したいと思った」「佐賀のことがもっと好きになった」と答えるこどもたちが過半数以上となる。

4. 進行管理

受託者は業務を確実に遂行できるよう実施計画及び運行計画、当日の進行管理マニュアルを作成し、進行管理を行うこと。

5. 実施体制及び要員の確保

本業務遂行に十分な実施体制を敷くこと。統括責任者を1名配置し、適宜打合せ、進捗状況の報告を行い、事業の円滑な推進を図ること。外部組織、協力会社などが存在する場合は、その関係、役割、作業分担、責任範囲、指揮系統を明確にすること。

6. 委託期間

契約締結の日から令和7年3月31日まで

7. 委託料

10,840千円を上限とする（消費税及び地方消費税含む）。

8. 支払方法

完了払

9. 納品物

(1)実施計画、運行計画、進行管理マニュアル、~~ダイジェストムービーのデータ（サムネイル画像含む）~~

[部数：各1部 媒体：紙及びデータ

提出時期：実施計画 令和6年5月末

進行管理マニュアル 初回のイベント実施日の2週間前まで]

(2)業務完了報告書

[部数：1部 媒体：紙及びデータ 提出時期：業務完了時]

10. その他

(1)本事業に関する事務は、受託者が行う。

(2)受託者は、事業の実施状況について適宜佐賀県こども未来課に報告する。

(3)受託業者が本業務委託により新たに制作した制作物の著作権（著作権法第21条から第28条に定めるすべての権利を含む）は、編集タイアップなど媒体社が権利を保有する場合を除いて佐賀県に帰属するものし、佐賀県は、これらの制作物（写真、イラスト、文章、ホームページ画面、データ等）を無償で自由に二次利用できるものとするとともに、制作者は佐賀県に対して著作者人格権を行使しないものとする。

(4)成果物の二次利用について、媒体社などが権利を保有する場合であっても、県は下記の場合において、無償で自由に二次利用できるものとする。

ア 県及び県が指定する者が保有するホームページ、SNS等での公開

イ 講演会、イベント等での紹介・上映・配布などの広報活動

(5)(4)以外の二次利用やタレントなどを起用する場合の使用期間については協議のうえ、定めるものとする。また、第三者からの異議申し立て、紛争の提起については、全て受託者の責任と費用負担で対応するものとし、県は責任を負わない。

(6)業務の遂行にあたり、第三者（県及び受託者以外の者）が所有する素材を用いる場合には、受託者が著作権処理等を行うこと。

- (7) 本業務の委託料により受託者が購入した備品等は、県に帰属するものとする。
- (8) 本事業の一部を第三者に再委託する場合には、あらかじめ佐賀県こども未来課に対して、再委託する業務の内容、再委託先、再委託先に対する管理方法、その他必要な事項を報告し、承認を得ること。なお、業務の統括に係る業務は、再委託を認めない。
- (9) 受託者は、本業務を履行する上で個人情報を取り扱う際は、個人情報保護法（平成15年法律第57号）を順守しなければならない。
- (10) 本仕様書は、業務の内容について示すものであるが、業務の性格上、当然に実施しなければならないものについてはもちろん、この仕様書に記載のない事項であっても、佐賀県こども未来課と受託者が協議して定めた事項についてはこれを順守し、業務の遂行に当たらなければならない。また、業務の実施に当たっては責任者を明確にし、佐賀県こども未来課の職員等関係者と連絡を密にし、遺漏の無いようにすること。
- (11) 本事業の参加者等との間に発生したトラブルに対しては、受託者が責任をもって対処すること。
- (12) 受託者は、本業務に係る契約の終了に伴い、他者に業務の引継ぎを行う必要が生じたとき佐賀県こども未来課が判断した場合には、佐賀県こども未来課の指示を仰ぎながら、利用者の利便性を損なわないよう、事前に必要な措置を講じるとともに、円滑な引継ぎを行うものとする。
なお、具体的な内容については、受託者と佐賀県こども未来課の協議によることとする。